

かつて子供だった大人へ。
そしてこれから大人になる子供たちへ。
スピルバーグが贈る
SFファンタジー!

A STEVEN SPIELBERG FILM

E.T.

THE EXTRA-TERRESTRIAL

スティーブン・スピルバーグ作品

E.T. THE EXTRA-TERRESTRIAL

ディーン・カッシーリ・ピーター・コヨーテ・ヘンリー・トーマス

音楽ジョン・ウィリアムズ◆脚本メリッサ・マティソン◆製作スティーブン・スピルバーグ・カスリーン・ケネディ

監督スティーブン・スピルバーグ

カラー作品 DOLBY STEREO

ユニヴァーサル映画 CIC配給



A STEVEN SPIELBERG FILM

E.T.

THE EXTRA-TERRESTRIAL

遙か300万光年の彼方から、未知なる地球へ…
彼は、独りぼっちで恐怖におののいていた。

スティーブン・スピルバーグ作品
E.T. THE EXTRA-TERRESTRIAL

ディー・ウォーレス/ピーター・コヨーテ/ヘンリー・トーマス
音楽ジョン・ウィリアムス/脚本メリッサ・マティスン/製作スティーブン・スピルバーグ/カスリーン・ケネディ
監督スティーブン・スピルバーグ

ユニヴァーサル映画



CIC配給



《カラー作品》DOLBY STEREO

サントラ盤MCAレコード

1億ドル突破映画史上最短記録樹立!! 今、アメリカでは2人に1人が観ている……

82年6月11日アメリカ、カナダで公開後、「E.T.」はわずか31日目で1億ドルを突破するという、過去のどんな映画も成しえない超ハイ・スピード記録を樹立したのです。あの「ジョーズ」でさえ59日目、「スター・ウォーズ帝国の逆襲」では70日かかって到達した1億ドル収入をおよそ半分の時間で突破するという常識破りの記録です。

これはアメリカの巨大な人口の2人に1人が映画館に出かけるペースというケタ違いのスーパー・ヒットなのです。



「宇宙人がボクのともしちなんだ!」

10才の少年が体験したこの物語は、かつて数ある映画の中でも最良の、心暖まる健やかな感動を私達にプレゼントしてくれます。

「ジョーズ」未知との遭遇」等、その手がける作品いずれもが映画史上に残る傑作ヒット作となるスティーブン・スピルバーグ監督のこれは、その中でも最高傑作と評判高い最新作です。

満天に星の輝やくある夜、森に囲まれた人気のない草原にUFOが着陸します。自分の故郷の星から遙か3百万光年という気の遠くなるような彼方からやって来て、一人地球に置き去りにされた宇宙人E.T. (EXTRA-TERRESTRIAL / 宇宙からの愛らしい訪問者) にとつてみれば地球人がエイリアンなのです。だから10才の少年と出逢うまで彼はその身を隠します。「未知との遭遇」で「WE ARE NOT ALONE / 宇宙にいたるは我々だけではない」とメッセージしたスピルバーグだからこそ、宇宙人はいよいよ地球の家庭に入りこむのです。ビールを飲んで酔っぱらいます。TVのセサミ・ストリートを見てアルファベットを覚えます。そして少年が困っている時には、自分の持つ超能力を発揮して少年を救います。

少年とE.T. — ふたりの友情の物語は、単に友情にとどまるだけではなく更に人間と宇宙人の間の、心の交流・信頼・愛のレベルにまで昇華されていく、これは感動のSFメルヘンなのです。

主演の子供達は、スピルバーグと共同プロデューサーであるカスリーン・ケネディによつてほとんど素人に近い少年少女が選ばれました。まず主役のエリオットには10才のヘンリー・トーマス。妹ガティを演ずるドリユー・バリモアは映画初出演ですが、名優ジョン・バリモアの孫娘です。兄マイケルに扮するロバート・マクノートンはオフ・ブロードウェイで主役を演じた経験を持っています。母親役のディー・ウォレスは「ハウリング」や「テン」に出演しています。

脚本を担当したメリッサ・マティソンはフランシス・F・コッポラのもと詩的情感にあふれた「少年の黒い馬」のシナリオを手がけています。8週間かけてこの「E.T.」の第一稿を書きあげました。音楽は「ジョーズ」「スター・ウォーズ」でアカデミー賞を獲得している映画音楽界の第一人者ジョン・ウィリアムス。特殊効果は「キングコング」「エイリアン」でこれもアカデミー賞受賞に輝くイタリアの画家であり彫刻家のカルロ・ランバルディ。スピルバーグ監督と組むのは「未知との遭遇」に次いで2度目です。彼が創作したE.T.は撮影終了後、ヘンリー・トーマス少年に「彼は人間だったよ……」と言わしめる出来栄でした。

A STEVEN SPIELBERG FILM



E.T. THE EXTRA-TERRESTRIAL

《スタッフ》

製作……………スティーブン・スピルバーグ
監督……………スティーブン・スピルバーグ
脚本……………メリッサ・マティソン
撮影……………アレックス・ダビュ
編集……………キャロル・リトルトン
音楽……………ジョン・ウィリアムス
E.T. 創作……………カルロ・ランバルディ
特撮……………インダストリアル・ライト & マジック

《キャスト》

メリー……………ディー・ウォレス
エリオット……………ヘンリー・トーマス
キース……………ピーター・コヨーテ
マイケル……………ロバート・マクノートン
ガティ……………ドリユー・バリモア
グレッグ……………K・C・マーテル

